

新聞などでの報道のとおり、待機児童解消に向けて国も都も、子育て支援として保育受け皿を拡充するなどの取り組みを進めている。では港区の保育事情は、どうなっているのだろうか。区の職員に取材するとともに、昨年11月にリニューアルオープンした麻布保育園と西麻布保育園をお訪ねした。

昭和26年(1951年)に元麻布で開設した港区最初の保育園で、老朽化のため建て替え案が上がり、平成16年に鳥居坂に仮設として移転した経緯がある。

麻布保育園

屋外で光をたっぷり浴びて楽しめる

麻布地区総合支所の隣に完成した麻布保育園は、都心の真ん中にして広い園庭をもつのが特徴だ。定員は仮設の79人から150人と大幅に増員。現状は0歳児クラスへの申し込みが最も多い(平成27年1月)。木を豊富に使った各保育室はそのままデッキのバルコニーに出られ、明るさと開放感いっぱい。園庭にはトンネルのある築山やのぼり棒、非常階段に併設したすべり台などが配され、屋上の畑では春先から農作物を育てる予定(取材は1月)。園内でアウトドアを存分に楽しめる。

お話を伺った方:園長 今村和子さん
港区六本木5-16-46 電話/03-5545-7135

港区の保育事情

麻布の保育園、定員増

近年、港区では大規模なマンションが次々に建設され人口が増加、出生数は平成20年の1,983人から24年は2,610人に。待機児童数もそれとともなって増え、4月時点のカウントでは、22年のピーク時には274人となったが、26年には45人まで減少。26年12月時点では176人。うち0歳児は135人。(4月には入園で減少する)

待機児童解消に関する区の対策の中身は、まずは区立保育園については、老朽化施設を改築する際に、港区基本計画に基づく整備により定員増とすること。麻布地区でいえば、今回紹介する2園と、昨年9月に完成した南麻布4丁目、大型保健福祉総合施設内の「本村保育園」がそれにあたる。また、区による期間限定の緊急暫定保育施設の開設、区の基準をクリアした私立保育園の誘致なども挙げられる。27年4月には、区立・私立保育園11、緊急暫定保育施設2、定員総計1,282名(予定)となる。住宅地を多く有する麻布が、5地区の中で最も待機児童数が多いというから、今後の動向に注目したい。

第二子以降の保育料が無料に

港区の保育園の特徴としては、まず一人当たりのスペースが挙げられる。認可保育園の場合、都の定める基準では0歳児の場合3.3㎡のところ、港区は5.0㎡と余裕をもたせてある。また、27年4月から全国で始まる『子ども・子育て支援新制度』に合わせて、港区も保育料の見直しを図った。区内に暮らし、第一子が認可の保育園や幼稚園に通っている場合、第二子以降の保育料が無料に。少子化対策の一環として23区では初の取り組みだけに、他の区からも注目を集めている。一方、住民税額に応じて異なる保育料の最高上限額は引き上げられる。詳しくは各地区総合支所、区民課保健福祉係まで。

お話を伺った方:
港区役所
子ども家庭支援部
子ども家庭課保育支援係長 山越恒慶さん
子ども家庭課保育担当係長 後藤涼子さん
麻布地区総合支所
管理課施設運営担当係長 村瀬雅則さん
区民課保健福祉係長 田岡一則さん



- 1 保育室は広く、コーナーのレイアウト次第で様々な遊びができる。ベテラン園長の今村和子先生の他、22名のスタッフが対応。
- 2 鳥居坂へ向う通りから見た外観。六本木駅に近いこともメリットの一つ。
- 3 取材の日は、ちょうど餅つき大会が催されていた。父兄の手伝いも出て子どもたちは大喜び。
- 4 六本木ヒルズの眺望が、なんとも麻布らしい屋上庭園。
- 5 赤ちゃんの世話をゆったりとできる0歳児の保育室。



おじいちゃん、おばあちゃん世代との交流も

西麻布交差点近くにできたこの園は、「いきいきプラザ」、子育てひろば・一時預かりの「あっぱい西麻布」などを併設する複合施設の中にある。定員は仮設の102人から129人へと増員。現状では各クラスに外国人の子どもが3～5人おり、国際色豊かだ(平成27年1月)。祖父母世代が利用するいきいきプラザとのタイアップ行事も計画中で、盆踊り教室やお茶会(茶道)、演芸を披露しあう催しなど様々な体験ができる。あっぱい西麻布とも情報交換し、港区の子育てを支援していく。

お話を伺った方:園長 田川伸子さん
港区西麻布2-13-3 電話/03-3409-4924

西麻布保育園



- 6 保育室は引き戸の開閉で多様な使い方が可能。園長の田川伸子先生の他、保育士の中には男性スタッフもいる。
- 7 いきいきプラザやあっぱい西麻布と共用のモダンなエントランス。壁面には港区の新鋭のアーティストの作品が飾られている。
- 8 外苑西通りを見下ろすランチルーム。外の喧騒を感じさせない温かみのある雰囲気。
- 9 一見したところはオフィスビルのような。昭和46年(1971年)に開園し、途中、青山霊園西側の仮設を経て、再びこの場所にオープンした。
- 10 ビルに囲まれながらも、のびのび遊べる園庭。



麻布びと

未来へ残したい麻布の声



元・工具店経営
わたなべとくぞう
渡辺徳造さん (78)

南麻布2丁目(旧・麻布新堀町)で長きにわたり工具店を営んでいた渡辺 徳造さん。「株式会社 渡辺商会」の2代目として活躍、引退して10余年経つ現在は、世帯会員数892世帯(平成26年4月1日現在)の南麻布新堀会の文化部長として地域に貢献していらっしゃいます。そんな渡辺さんから飛び出したのは「日本工業発祥の地は麻布である」という言葉。日本工業の発展とともに歩んだ渡辺さんに、お話を伺いました。

終戦前から新堀町に

渡辺さんは昭和11年生まれ。当時、先代であるお父様はすでに工具店を営んでおり、お店は広尾神社の裏通りにあったそう。幼い頃には自宅の前に「犬屋」(現在でいうペットショップ)があったこと覚えているといいます。

工場で使用するベルト(ファンベルトのようなもの)を主に扱っていたという渡辺商会。第二次世界大戦の影響で東京から離れることになり、渡辺さんも小学校低学年から高校生までの間は、福島や埼玉県羽生に居を移し、麻布から離れていた時期もあったそうです。終戦前には現在のお住まいである麻布新堀町に店舗を移転。以来、渡辺商会はこの地で商売を続けてきました。麻布新堀町の町名は、町の東と南の二方が、古川(新堀川)に沿って広がっていることに由来しています。(港区公式ホームページより)



車好きの父上は、渡辺さんが生まれた
当時から自家用車を楽しんでいた。
父上と車内の渡辺さん。

2~3歳頃の渡辺さん。父上が経営する
「渡辺商会」には、輸入された工具品や
部品がたくさん並んでいた。

麻布は町工場の密集地帯

20歳頃から家業を手伝い始めた渡辺さん。時に日本は高度経済成長期、渡辺商会も常時2~3人の従業員が住み込みで働いていたといいます。この頃、南麻布2丁目から白金1、2丁目辺りはまさに町工場の密集地帯といえる賑わいで、旋盤工場、バルブ工場、ボルト工場……と、ものづくりにおけるありとあらゆる工場が軒を並べていたのだとか。

「今、東京の工業系の町工場といえば大田区、特に蒲田周辺を思い浮かべる人が多いと思いますが、元々は麻布。日本の工業の発祥地は麻布なんです」。日本の復興と工業の発展を、この麻布の地で支え続けた渡辺さんの言葉に、重みを感じずにはいられません。

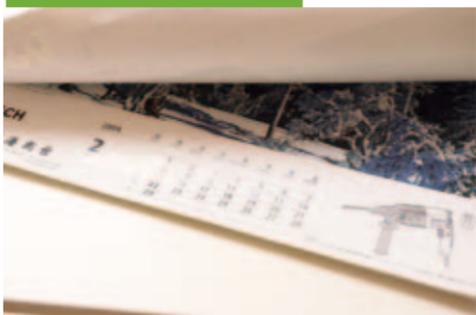
そんな渡辺さんにとって、同じように工業に携わる経営者の会「麻布十日会」。毎月10日に会合を持っていたことにちなみ、命名された会は、現在でもとても大切な存在。渡辺さんらの父親世代が結成した会で、68年の歴史を誇ります。麻布に町工場が少なくなった今でも、毎月の会合で情報交換を行っています。

「扱うもの、造るものはちがっていても、例えば車1台完成させるため



(左) 西独(当時)製のHAZET社の工具も扱っていた

(下) 仕事を引退した渡辺さんだが、上等な工具類は一生もの。家には扱っていた工具類のコレクションがたくさん残っている。HAZET社の工具のひとつ。



BOSCH社の工具をイラストで紹介したカレンダーも思い出の品

インタビュー当日、たくさんの思い出の写真を持参して下さいました

には、それぞれの部品が必要です。周辺では、お互い助け合って商売していたから、仲はよかったし、活気がありましたね。」

その延長線にある会なので、今でも協力体制はしっかりできているそうです。

麻布ならではの仕事も

渡辺商会は、ドイツの電動工具メーカー「ポッシュ」の日本代理店でもありました。元来コレクター気質のある渡辺さんは、海外製の工具類を豊富に取り揃え販売していました。そんな品揃えを目当てに来店するのは日本人ばかりでなく、外国人のお客さんの姿もありました。大使館では機密保持のため自国の建設業者が工事をするのがほとんど。各国の大使館工事に従事する外国の建設業者が多く来店していたのです。「お互い言葉は通じなくても、工具は見ればわかりますからね」。大使館の多い麻布ならではのお客様です。

外国人の顧客は口コミなどでも増えていき、経営は順風満帆だったといいます。

時代と共に、工具類のグローバル化が一段と進み、ネットなどの発展もあって、一代理店の役割は終わったと判断、イコール渡辺さんの引退となりました。

「引退してゆっくりできたら、周辺がマンションの建築ラッシュで、一気に人口が増えて、忙しいんですよ。」と、渡辺さん。新しく住む人たちがより快適に地元と関わって暮らしてほしいと、町内会の事業に力が入る毎日です。南麻布新堀会は現在300人ほどのメンバーがいます。お神輿、町内会の旅行、会合、イベントなど、町に親しんでほしい、と東奔西走の毎日です。



平成元年まで明治通り沿いで渡辺商会を運営していた。

被災地福島からやってきた、ピアンカです

ワタシも 麻布っ子

このコーナーでは、あなたの大切な“家族”を紹介していきます。



西麻布の家から
見事な桜が眺められます。
ワタシは 桜が大好き。



ピアンカはイタリア語で白の意味です。
西麻布の4人家族の家で、幸せに暮らしています。

●ワタシが西麻布へ来るまで

2011年3月11日の東日本大震災では、1万8400人以上が亡くなったり行方不明になりました。40万戸以上が全半壊し、福島の飼い主さんの家も被害に遭いました。避難所ではペット禁止で、ワタシも大勢の猫たちと大きなゲージで暮らしました。仮設住宅に移った飼い主さんは、そこでもペットは禁止で、泣く泣く離ればなれになり、ワタシの住処は大きなゲージの中でした。

全国からペット保護のためボランティアが福島に来てくれました。今の飼い主さんも活動に参加し、ペット小屋の掃除や餌やりなどしてくれました。飼い主さんの友人がその後何度もボランティアとして福島にやってきて、ワタシを含め、何匹かを東京の自宅にひきとってくれました。近所

の野良猫たちも保護するので、一時は7匹の大所帯になり、友人・仲間へ里親になってほしいと連絡したのです。

ワタシを写真で見た今の飼い主さんが、名乗りをあげ、西麻布の家に引き取られたのが、震災から1年目の2012年3月11日です。ピアンカの名前は福島の飼い主さんが命名してくれたもの。家猫として育ったので、2回の避難所生活で、ワタシの身体はぼろぼろでした。東京の動物病院で検査を受け、内臓の虫の除去や、皮膚の手入れをしてもらいました。もちろんお風呂にも入ってもらいました。

●同居人が増えました

西麻布の家で穏やかに過して1年、飼い主さんの庭で野良猫が子どもを生みました。やさしい飼い主さんは彼等も家族に加えしました。双子のティキとローラです。ワクチン接種が終わるまで3ヶ月間、同じ屋根の下で別々に暮らしました。ワタシは

多分4-5歳らしいです。だから、彼等とは親子ほど年がちがうので、けんかはまったくしません。むしろママになった気持ちで、2匹をべろべろなめてあげて、2匹もワタシにとってもなついてくれてます。飼い主さんの話すポルトガル語にもすっかり慣れて、「わたしのお姫様」って飼い主さんが抱きしめてくれる毎日で、とてもいい気分です。福島の飼い主さんとはもう会えないけれど、東京で幸せに暮らしてますって、伝えたいです。

2013年初めて3匹で会った頃。
ティキとローラが甘えてくるので、ワタシ(ピアンカ)はずっぴりママ気分。



最近のワタシたち。すっかり家族です。左が男の子のティキ、右がローラ、中央がワタシピアンカ。

あなたの
大好きな動物を
ご紹介下さい。

必ず写真を添えて、下記宛てに郵送ください。飼い主の自薦、他薦は問いません。飼い主と一緒にの写真も掲載できます。ご応募多数の場合は編集会議に諮りますが、採否の審査過程のお問い合わせには応じかねます。採用させて頂く場合は改めて取材に伺います。お送り頂いた資料は採否に拘わらず返却致しませんので、予めご了承下さい。皆様からのご応募を心よりお待ちしております。

〒106-8515 港区六本木5-16-45

港区麻布地区総合支所 協働推進課 地区政策担当 「ワタシも麻布っ子」応募係

お待ちしております♪



(取材・文/高柳由紀子)



ラトリエ・デュ・パン
シェフ
みつはし たけし
三橋 健さん
パン職人14年のキャリアを持ち、
シェフとして5人の職人を率いて
いる。
latelier-du-pain.com/

子どもに生きていく力を

KIDS!

親子で
読んでみよう

ハローワーク



生地の状態を見極める

今回のテーマはパン職人です。港区立六本木中学校1年生2名が、六本木にある“ラトリエ・デュ・パン”のシェフ三橋さんにお話を伺いました。

◎パンが出来上がるまでの時間は？

小麦粉の段階から焼き上がるまで、パンの種類によって24時間かかるものもあれば、十数時間でできるものもあります。

◎出勤は何時ですか？

お店の営業は午前7時半からですが、4時半には出勤しています。電車が動き出す前ですから、品川区から自転車で通っています。

◎このお店のパンのこだわりは？

酵母菌を加えた後、低温で長時間発酵させた生地を窯で焼くことです。普通は40℃で発酵させますが、低い温度でじっくり寝かせると、酵母菌の量を少なくできるため、その分、小麦の香りが引き立ち甘くて美味しいパンになるのです。前日から生地を準備して、翌朝パンを焼き始めます。

◎新製品はどうやって誕生するのですか？

世代によって様々な嗜好があるので、どんな人が見ても買いたいパンがあるような品揃えを心掛けています。自分だけでなく若いスタッフのア



焼き上がりの香ばしい香りが漂うパン工房で、思わずにっこり。
“明日の朝はトーストにしよう”。

アイデアも取り入れ、実際に作ってみて美味しければ即商品として店頭で並びます。職人に成り立ての頃、イメージして作ったパンが膨らまずに失敗したことがありますが、今では、どんなパンが出来上がるのか作る前に大方判ります。

◎パン職人を目指す人にアドバイスは？

私が尊敬して止まない師匠は、パン作りの技術も人間としても素晴らしい方です。師匠に比べれば、私などまだまだ未熟です。朝早い仕事で辛いこともあるけれど、小さな目標を少しずつクリアして、いつか師匠のようにアドバイス出来るようなパン職人になれたらいいですね。



この道に入ったのは、アルバイト先でパン作りの奥深さを知ったからという三橋さん。



大きな生地を計量してあんパン二つ分を切り分け、次は分量で半分こに。試しに測ってみたら、見事、同じ重さでした！



甘さ控えめのあんこを白玉粉を混ぜたパン生地で包んだ、その名も“六本木あんパン”。



パンの種類によって160℃から300℃まで、石釜の設定温度はさまざま。焼き加減を見極めるのがシェフの大切な役目。

(取材・文/平本理花子、藤原千那美 取材サポート/出石供子)



ガーナ共和国
 面積： 238,537平方キロメートル(日本の約3分の2)
 人口： 約2,550万人(2012年:UNFPA)
 首都： アクラ(Accra)
 元首： ジョン・ドラマニ・マハマ(John Dramani MAHAMA)大統領
 (2013年1月就任、任期4年)
 議会： 一院制(定数275、任期4年)

外務省ホームページ
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/ghana/data.html>



パーカー・アロテ駐日大使

取材協力/ガーナ共和国大使館

大使を訪ねて ③
麻布の"世界"から



Ghana

野口英世の黄熱病研究を受け継ぎ、感染症医療に貢献する国ガーナ

「ガーナは自然豊かで資源も豊富な国。学生の繋がりなども作っていききたいですね」。爽やかな民族衣装の姿でこう語ったのは、昨年末に着任されたガーナ共和国のパーカー・アロテ駐日大使です。ガーナといえば、有名なチョコレートやサッカーで知られていますが、今回は西麻布のガーナ大使館を訪問し、その歴史や、日本との関わりの深いガーナについて伺ってきました。

ガーナの歴史とプロフィール

「ガーナという国の名前は、4～13世紀に今のギニアからマリ(今のガーナより北部)に位置した、「ガーナ王国」という金や塩の交易で栄えた国に由来します。「ガーナ」はアラビア語で「富」を意味し、かつて「サハラ越え交易」が栄えた頃は、そのルート上の国として繁栄しました」と、ガーナ紹介はお国の名前の由来から始まりました。現在ガーナが位置する西アフリカ一帯は、その後諸王国が統治し、15世紀にはヨーロッパ人と金貿易を開始。17世紀には奴隷貿易が盛んになります。それに伴って、金貿易拠点の宿泊や貯蔵施設として現在のガーナの海岸沿いに、建設された城や要塞が、奴隷船の到着を待つ間の奴隷収容所となったそうです。その歴史を伝える「ケープコースト城」等は今では観光客が訪れる世界遺産です。奴隷貿易が廃止された19世紀に、ガーナは英国の植民地となりました。



野口英世博士の銅像
 首都アクラのガーナ大学内の野口英世記念研究所に保存されている。
<http://ghanachocolate.web.fc2.com/page10.htm>



世界遺産のケープコースト城
 16世紀に貿易拠点としてオランダ人によって建設され、17世紀英国所有となり、アメリカ等へ奴隷を輸送する奴隷収容所として使用された。その後、19世紀まで英国植民地政府として使用され、現在は公立博物館。



国立公園
 上：カクム国立公園はカノピーウォークという吊り橋で有名。
 左：モレ国立公園はサバンナと森林が広がる自然保護区。両公園にはアフリカ象をはじめ、多種多様な動物や鳥類が生息する。



その後、独立の話になります。「1957年に英国より独立しましたが、これはサハラ以南のアフリカでは初でした。その後、初代大統領であるエンクルマの呼びかけでアフリカ統一機構(OAU)が組織され、近隣地域の独立を支援していくこととなります。」歴史を語るその口調は次第に熱を帯びてきます。「ガーナだけが独立しただけではだめだったので。ガーナはOAUのリーダー、強いリーダーとしてアフリカ全土の独立を目指しました」。

大使は当時の歴史について熱く語り、サハラ以南のアフリカ最初の独立国として、アフリカの独立をひっぱりだた国家であることに、誇りと先人への敬意を抱いている様子がかげえました。その気概はガーナの国旗にも刻まれており、「赤はアフリカ大地で流された血、黄色は金、緑は豊かな森林や農業を象徴し、真ん中の黒い星は光輝く、アフリカを導くシンボルです」と説明して下さいました。とはいえ、独立以後の道のりは度重なるクーデターもあり、順調なものではなかったとのこと。

そうした苦難を乗り越え、政治的に安定した今のガーナの課題は経済成長。「ガーナは何と言っても資源が豊富です。有名なチョコレートの原料であるカカオ豆をはじめ、金、マンガン、ボーキサイトなどいろいろな資源を持っています。日本の企業も商社をはじめとして20社以上進出していますよ。」と続きます。日本の話題が出たところで、今度は野口英世博士のことを尋ねてみました。

伝染病の解決に向けて

ガーナは野口英世が生涯をかけて黄熱病の研究のため、晩年赴任し、息を引き取った国でもあります。今でもガーナで野口英世の名前はよく知られているそうです。その功績を讃えて設立された野口記念医学研究所は感染症の医療支援施設。黄熱病だけでなく、ラッサ熱やデング熱などの熱帯感染症研究の中心として世界中の医学研究者との交流も行っています。昨年のエボラ出血熱の発生時は、西アフリカを代表する医学研究所として海外からの支援活動の拠点となり、血液サンプルの解析を行うなど、拡散防止に貢献しました。なお、「ガーナではエボラ出血熱の発生は確認されていません。よく誤解されているようで、そのせいか観光客も激減してしまいました。」と困ったように語られました。ガーナには美しいビーチやサバンナと森林のモレ国立公園などの観光地が多くあり、日本人観光客も訪れるそうなのに、これは大変な打撃です。一刻も早いエボラ出血熱の終息とこのような誤解が解消されることを、私たちが願うばかりです。

麻布地域との意外な関係

さらに両国の関係について伺ったところ、「国交樹立から交流は55年以上続いています。政治経済のつながりも

ガーナの特産品
 ガーナの織物ケンテは鮮やかな色彩と複雑なデザインが特徴で、全て手織り。ガーナのお酒(ストロベリーやココアのリキュール)とチョコレート、アクセサリー。



木工製品



シアバター製品
 シアバターはガーナ北部に自生するシアの木の美から採れる油脂。ボディクリームや石鹸に加工され、天然の保湿クリームとして愛用される。

大事ですが、やはり学生など若者のつながりも大事。麻布地域の高校生とガーナの高校生の交流なども進めています。」と、西麻布という大使館の立地条件を活かした活動について教えて下さいました。また、港区内の小学校から大使館訪問も随時受け付けており、昨年は4校から小学生の訪問があったそうです。

今後の大使の取り組み

今後の取り組みについては「まずは、今年のガーナ大統領の訪日に向けて、きちんと準備することですね」。ガーナ大統領の来日は正式なものとしては初とのこと。公式訪問の準備以外にも、大使館では特産品のカカオ豆・木材・工芸品・ジュエリー・シーフード・カシューナッツ・シアバターなどのプロモーションも進めています。

多忙な中でも、時間をみつけては近所を散策し、大使館周辺では六本木がお気に入りという大使。今後のガーナと日本との関係が、どう発展していくのか、しばらく目が離せそうにありません。



(取材・文/大澤佳枝、寺尾周祐)

近代日本における極めて特筆すべき地区

港区麻布地区総合支所や東洋英和女学院が置かれる鳥居坂周辺は、江戸から明治・大正・昭和にかけての歴史文化に深く関わる人々の屋敷や施設が置かれ、近代の日本において、極めて特筆すべき地区である。今号ではその一端を残された貴重な写真とともに振り返ってみることにした。



麻布未来写真館 鳥居坂

名前の由来

鳥居坂の名のおこりは、慶長の初期に鳥居彦右衛門元忠が坂の東側(写真では右側)に屋敷を拝領していたからだといわれている。



鳥居坂下交差点より鳥居坂を望む。(平成22年) 見た目以上に急勾配の斜面にも特徴がある。

また、一説では氷川神社の二の鳥居(あるいは三の鳥居)があったからともいわれている。

もともと坂は無かった

延宝年間(1673～1681年)には、この通りは突き当たりで、鳥居坂はなかった(左下図「延宝年間の図」参照)。その後、元禄12(1699)年の江戸図になって、鳥居坂の道が現われる(「元禄版の江戸図」参照)。これにより今の鳥居坂は、鳥居家の敷地の一部を道とし、元禄の頃にできたものと思われる。



【鳥居坂周辺の主な建物】

東洋英和女学校

カナダ・メソジスト教会(現在のカナダ合同教会)婦人伝道会社から派遣された宣教師ミス・カートメルは、明治15(1882)年来日。



現在と当時の東洋英和女学校の位置関係

明治16(1883)年、カナダ・ミッション(カナダ・メソジスト教会伝道会社)のカックラン、マクドナルドの両氏が東京麻布に学校(男子校※現・麻布学園)の開設を計画しており、その建設予定地(東鳥居坂町13番地)の下には、ビール醸造場の跡地(同14番地)があった。

明治17(1884)年、ミス・カートメルはマクドナルドの協力を得て、東鳥居坂町14番地に東洋英和女学校を設立した。



写真提供:東洋英和女学院
明治18(1885)年当時の東鳥居坂14番地付近。高地には東洋英和女学校(男子校)が見える。



現在の鳥居坂下付近(平成22年)

小学校から区役所へ

港区麻布地区総合支所がある場所は以前麻布小学校が置かれていた。



写真提供:港区立麻布小学校
明治36(1903)年当時の麻布小学校

明治36年:麻布小学校

↓
昭和8年:麻布尋常小学校

昭和10年:麻布区役所が市兵衛町2丁目(現在の六本木3丁目)から機能を移転

昭和22年:港区役所麻布支所(平成18年からは麻布地区総合支所)



市兵衛町にあった麻布区役所
明治後期～昭和初期:麻布区役所
明治42(1909)年、市兵衛町に竣工した麻布区役所。



日本獣医生命科学大学※武蔵野市(平成22年)
昭和12(1937)年に移転した建物は、戦禍を避け今も校舎として現存している。



昭和10(1935)年頃の麻布区役所 出典:「港区議会史 通史編」



麻布地区総合支所(平成22年)

「麻布未来写真館」とは

港区麻布地区総合支所では、平成21年度から区民や企業等と協働し、麻布地区の昔の写真などを収集するとともに、定点写真を撮影し、麻布のまちの変化を保存する取組として「麻布未来写真館」事業を運営しています。

当事業は、麻布地区の資料収集・保存を通じて、住民の方々にとって身近な歴史・文化的な資料価値を持つ写真を保全・継承し、より一層活用することを目的としています。同時に、まちの歴史や文化をより多くの方々へ知っていただき、まちへの愛着を深めていただく一助となることを目指しています。

「麻布未来写真館」では、古い写真を探しています。

未来に向けて、残し、伝えていこうと感じになる「麻布地区の古い写真」がありましたら、港区麻布地区総合支所までお寄せください。

詳細につきましては、「協働推進課地区政策担当」までお問合せください。

お問合せ 電話:03-5114-8812



村岡花子 旧姓安中はな
(明治26年(1893) 6月21日 - 昭和43年
(1968) 10月25日)

「赤毛のアン」の翻訳者、村岡花子が暮らした麻布鳥居坂——後編

麻布の軌跡

「赤毛のアン」の日本語翻訳者である村岡花子(明治26年(1893)～昭和43年(1968))。花子(安中はな)は、麻布鳥居坂の東洋英和女学校(現東洋英和女学院)で、明治36年(1903)から大正2年(1913)まで過ごした。花子が麻布で過ごした10年間の軌跡、腹心の友、柳原燐子=白蓮(1885年(明治18)～1967年(昭和42))との出会い、童謡「赤い靴」のモデルとなった佐野きみとの不思議な巡り合わせの軌跡。後半では主に白蓮との関わり合いについて追ってみる。

前編で記したとおり、村岡花子は10歳で東洋英和女学校の予科に入学した。本科を経て20歳で高等科を卒業するまでの10年間を、同校の寄宿舎生として過ごしている。品川の貧しい茶葉商人の娘であった花子が、上流階級のいわゆる良家の子女が通う東洋英和女学校に入学できたのは、学校創業者と信仰を通して繋がりのあった父親の奔走によるものであった。但し身分は「給費生」扱いだっただ。

柳原燐子が生まれた柳原家とは

花子が麻布鳥居坂の東洋英和女学校(現東洋英和女学院)で学び始めて5年経った明治41年(1908)、15歳の花子の前に美しい編入生、8歳年上の柳原燐子(のちの白蓮)(以降 燐子に省略)が現れた。花子にとっては、異性に抱く初恋のような想いも持ち合わせたようだ。大正3美人とよばれた美貌の持ち主、燐子について述べてみよう。

燐子の祖父(母方)は幕末の万延元年(1860)日米修好通商条約の批准書交換にワシントンに正使として派遣された新見正興(1822～1869)(以降 新見に省略)である。

批准書交換をワシントンで行いたいと提案したのは、江戸幕府すなわち日本側だった。長い鎖国で外国のことが殆ど分っていなかった日本側は、少しでも米国情報を得たいため、この使節は重要な役割を担うことが宿命づけられていた。この人選を行う立場にあったのは大老井伊直弼。本来ならば、ハリスとの交渉にあたった優秀な2人の外国奉行岩瀬忠震、井上清直が適任だった。ところが当時13代将軍家定の後継を巡って南紀派と一橋派が争っており、2人は一橋派ということで、交渉終了と同時に罷免されてしまう。次に同じく外国奉行永井玄蕃守、水野筑後守が使節に任命されるが、これも似たような理由で取り消されてしまう。この4人は維新後も評価の高い人たちであった。

井伊大老の選考基準は、外国に派遣する正使についてはその「風采」にあったようだ。外国との接点もない、小姓上がりの新見に正使という白羽の矢が当たったのだ。家格は2000石で外国奉行として問題はないのだが、急ごしらえの正使で本人は大変だったであろう。

古来日本では、小野妹子の遣隋使派遣以来、外国に派遣する使節は、外国人の中に入っても、引けを取らない「容貌」、「顔立ち」がその選任基準となっていたようで、井伊大老はこれにならったようだ。井伊のため弁護をするなら、使節の監察役には、優秀といわれた小栗上野介を付け、重要な役割を申し付けている。

『新見はお小姓勤めのころ、大奥の女性たちが噂しあうほどのなかなかの男前で、立居振舞に品があり、押し出しが良くて堂々としていたようであった。』(平凡社新書 村上泰賢著「小栗上野介—忘れられた悲劇の幕臣」より)

また、新見をポーハタン号でアメリカまで送ったジェームス・ジョンストン大尉の手記によると『特に頭の切れるといった質の人ではないが、優しい性質と親切な心を持った人であることは見かけでもわかる。そして高貴な出であるから風采や態度が優美で上品である。』と記している。

新見はその容貌、顔立ちで万延元年遣米使節の正使に選ばれ、無事その任務を果たし、10か月後に帰って来た。その後は將軍の御側衆を務めた。慶応2年(1866)甥に家督を譲り、維新後の明治2年(1869)病没した。

そして幕府は滅び、新見家は主人を失った。新見の夫人は病身で、その母親を抱えて2人の娘お系つ、おりょうは柳橋の花街に身を売ることとなった。2人とも色白の大変な美人で、たちまち柳橋で一、二を競う売れっ子となる。明治維新の時は、武家の娘でありながら、芸者にまで身を落とさなければならなかった人がたくさんいたようだ。

ここで、ようやく柳原前光伯爵(以降 柳原に省略)が登場する。柳原は維新政府の中であって、公家としては岩倉具視と共に活躍した人で、西南戦争や明治初期の日清修好の場でも登場している。最後は枢密院議長を務めた人物である。柳原の妹愛子は、明治天皇の典侍=側室

として、大正天皇を生む。一方柳原も『その道にかけては、名うての粋な御前で』(時事出版社(1921年刊)八瀬不泥著「戀の白蓮夫人」より)と表現される人でもあった。華族の御前として柳橋辺りに夜毎出没していたようである。柳橋で、柳原は新見の娘で芸妓のおりょうを見初め、馴染みとなった。おりょうを巡っては伊藤博文と争ったが、薩長嫌いの姉 お系つ意見で、柳原の囲い者となったようである。そしてもうけた子が燐子である。つまりは大正天皇と燐子は、従兄弟同士となる。

柳原伯爵家は明治期、現在の麻布消防署の裏手、麻布桜田町(現・元麻布3丁目)に広大な屋敷を構えていた。燐子は一旦麻布の屋敷に引き取られるが、当時の公家の習慣で、品川に住む乳人の増山くんに家に里子に出される。7歳になり柳原家に戻り、麻布の南山小学校に通い(但し、8歳の時に北小路子爵の養女に出されたため転校し、同校は卒業していない)、引き続き華族女学校へ進む。16歳で親戚の北小路家と政略結婚させられ、一男をもうけるが、その環境に耐えきれず、20歳で柳原家に戻された薄幸の人であった。柳原家では、ある意味邪魔者扱いであった。23歳の燐子を東洋英和女学校へ編入させたのは、柳原家の苦肉の策であった。

花子と燐子が腹心の友になるまで

燐子は伯爵令嬢、後に歌人・白蓮として名を馳せた美貌の持ち主。庶民出身の花子とは、年齢も育った環境も全く違うが、2人は何故か気が合い「あき様」、「はなちゃん」と呼び合い、生涯の友情を誓い合う、腹心の友となっていく。燐子に対する花子の友情は、異性と言葉を交わす機会のほとんど無い花子にとって、初恋にも似た感情であったという(新潮社刊 村岡恵理著 『アンのかご—村岡花子の生涯』より)。

この2人の友情は、ある事件を契機に破たんする。本科卒業前の明治44年(1911)に、燐子が九州の炭鉱王、伊藤伝衛門と2度目の結婚をすることが新聞に報じられた。燐子が既に不幸な結婚生活を送っており、そして再び愛のない結婚をしようとしていることを初めて知った花子は、絶望し激しく傷つく。「心を与えないで、身をあたえるのは罪悪よ」と言い捨て、花子は燐子に絶交を宣言した(新潮社刊 村岡恵理著 『アンのかご—村岡花子の生涯』より)。

花子が燐子の苦しい心情を知り、友情が復活するのは、花子が東洋英和女学校を卒業し、英語教師として山梨英和女学校に赴任した後のことである。

童謡「赤い靴」のモデル佐野きみとの不思議な出会い

現在の麻布十番1丁目、「十番稲荷神社」のある場所に、明治の末に孤児院「永坂孤女院」があった。2階建ての建物で、1階は麻布教会(現鳥居坂教会)の「日曜学校」であった。

この「永坂孤女院」について、村岡恵理著『アンのかご—村岡花子の生涯』に次のような記述がある。

「(日曜日の)午前中、麻布教会の礼拝に出席する前に、花子たち数名の給費生は給費生の必修として、東洋英和が運営している孤児院「永坂孤女院」の日曜学校に教師として出向いた。麻布鳥居坂を下ったところが麻布十番で、学校からは目と鼻の先の距離である。しかし、この坂の下には坂の上の景観とは、うって変わって、庶民的な商店が立ち並ぶ賑やかな盛り場があった。(中略)大正後期に童謡として流行した野口雨情作詞の「赤い靴」の中で「赤い靴はいた女の子」として歌われている少女は、花子が永坂孤女院の日曜学校の教師をしていたこの頃、そこに居た佐野きみという少女である。」

驚くべきことに、児童向けに多くの作品や翻訳本を手掛けた花子と、童謡のモデルとなった少女が、明治の末、麻布の一隅で出会っていたというのである。(もっとも、この童謡が世に出るのは大正末期であるから、花子の記憶にあったとしても、せいぜい「幼くして亡くなったきみちゃんという少女が居た」位のことであろうが)。正に、事実は小説よりも奇なりと言わなければならない。



1908年(明治41)の永坂孤女院 花子は卒業するまでの10年間、永坂孤女院での奉仕活動を続けた。この中に、9歳で亡くなったきみちゃんもいたはずである。



童謡「赤い靴」のモデルとなった佐野きみ

佐野きみ(明治35年(1902)～明治44年(1911))は、静岡出身の未婚の母岩崎かよの娘(「佐野」は戸籍上の名前)。かよは北海道に渡り、鈴木志郎と結婚し北海道の開拓農場へ入植する。しかし、開拓生活の厳しさもあり、娘・きみの養育をアメリカ人宣教師のヒュエット夫妻に託す。やがてヒュエット夫妻は本国に帰る事になるが、そのとききみは結核に冒されており、アメリカに連れて行く事が出来ず、そのまま東京・麻布の孤児院「永坂孤女院」に預けられ9歳で亡くなる。母親のかよは、きみはヒュエット夫妻と一緒にアメリカに渡つ

たものと思いこんでいて、きみが東京の孤児院で亡くなったことは知らされないまま、一生を過ごした。

詩人野口雨情は、札幌市の新聞社に勤めていたときに、同僚の鈴木志郎やその妻のかよと親交を深め、きみちゃんを題材にした詩を書き、これに本居長世が曲を付けて、大正11年に童謡「赤い靴」が生まれた。



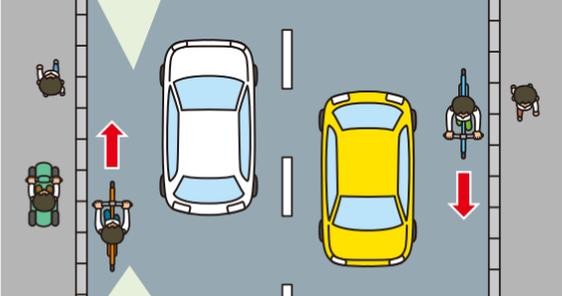
自転車安全利用五則

やめてくださいながら運転

スマートフォンや携帯電話を操作しながら、傘をさしながら、音楽等を聴きながら…。深刻な事故が起きています。

1 自転車は、車道が原則、歩道は例外

- 例外
- 標識等で自転車の歩道通行を許可している場合
 - 運転者が13歳未満の子ども、70歳以上の高齢者または体の不自由な人が運転する場合
 - 道路工事や連続した駐車車両等で通行が困難な場合



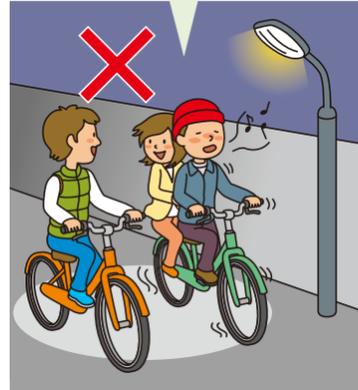
2 車道は左側を通行



3 歩道は歩行者優先で、自転車は車道寄りを徐行

4 安全ルールを守る

- 二人乗り・並進の禁止
- 飲酒運転の禁止
- 夜間はライトを点灯
- 交差点での一時停止と安全確認



5 子どもはヘルメットを着用

幼児を自転車に乗車させるときや子どもが自転車を運転するときは、ヘルメットをかぶらせましょう。

区民交通傷害保険について

平成27年度 港区民交通傷害保険加入の申込は3月31日(火) 【金融機関での申込は3月23日(月)]までです

港区民交通傷害保険は、少額の保険料で加入でき、交通事故でケガをしたときに、入院や通院治療日数と通院治療期間に応じて保険金をお支払いする保険制度です。港区民交通傷害保険に、「自転車賠償責任プラン」を併せたコースも募集しています。日本国内において被保険者の方が、自転車または身体障がい者用車いすの所有、使用または管理に起因して、他人にケガを負わせたり、他人の財物を壊したりしたこと等によって法律上の損害賠償責任を負った場合に、保険金をお支払いします。※自転車賠償責任プランのみでの加入はできません。

詳しくは各総合支所で配布しているパンフレットまたは区のホームページをご覧ください。

加入対象者	平成27年4月1日午前0時時点で港区に住所がある人
保険期間	平成27年4月1日午前0時から平成28年3月31日午後12時までの1年間
加入方法	<p>●個人で加入される場合 各総合支所協働推進課協働推進係又は区内金融機関(銀行、信用金庫、信用組合、ゆうちょ銀行・郵便局)で配布する加入申込書に記入のうえ、保険料を添えてお申し込みください。</p> <p>●10人以上の団体で加入される場合 各総合支所協働推進課協働推進係で、団体加入申込書に記入のうえ、人数分の保険料を添えてお申し込みください。</p>
加入申込期限	<p>●各総合支所協働推進課協働推進係 3月31日(火)</p> <p>●区定める金融機関 3月23日(月)</p> <p>※申込期間外の加入はできませんのでご注意ください。</p>

引受保険会社／損害保険ジャパン日本興亜株式会社東京公務開発部営業開発課 千代田区霞が関3-7-3

電話／03-3593-6506

問合せ先／麻布地区総合支所協働推進課協働推進係 電話／03-5114-8802

(SJK14-14961 2015年1月22日作成)

港区暮らしのガイド2014の訂正について

平成26年11月に発行した、「港区暮らしのガイド2014」の掲載記事に誤りがありましたので、お詫びして訂正します。

皆さまにはご迷惑をおかけし、大変申し訳ありません。

対象記事 (1)子育てカレンダー (P56・57)

■訂正内容 (2)手話通訳・要約筆記の派遣(P119)

		正
(1)	相談・教室	ブックスタート(1歳の誕生日まで)
	予防接種	BCG(生後1歳未満)
		4種混合
		小児用肺炎球菌ワクチン(生後2カ月～5歳未満)
(2)	申し込み・問い合わせ	東京手話通訳等派遣センター 新宿2-15-27 第3ヒカリビル5階

詳しくは区ホームページをご覧ください。

<http://www.city.minato.tokyo.jp>

お問合せ／区長室広報係

電話／03-3578-2036



消防少年団に入りませんか？

麻布消防少年団は小学校1年生から中学校3年生までの男女が楽しく活動しています。互いに助け合う、規律正しい行動をするなどを基本に、ロープワークや消火・救急・救助訓練などを行っています。活動は月に1回程度、日曜日に麻布消防署で行われます。東京消防出初式見学や一泊二日の夏期防災キャンプも予定しています。かっこいい制服を着て私たちと一緒に活動しませんか？(写真はロープワークの訓練)

お問合せ／麻布消防署麻布消防少年団事務担当 長谷川

電話／03-3470-0119 内線322



東京都水道局からのお知らせ

東京都水道局では、東京タップウォータープロジェクトを推進しています

安全でおいしい東京水には、次のような良さもあります。

★環境にもお財布にもやさしい

蛇口(タップ)を開けばお客さまに届く水道水。製造・輸送にかかるエネルギー効率がとても良く、エコです！水道水は1リットルあたりおよそ0.2円。

★いつも身近にある頼もしい存在

清潔な水道水での手洗い、うがい、炊事、お風呂など、いつでも身近にあって、衛生的な暮らしを支えるのが東京水です。※スマートフォンなどでPR映像を御覧になれます。



お問合せ／東京都水道局港営業所 港区三田1-3-27 電話／03-5444-2091



都税事務所からのお知らせ

4月から固定資産税にかかる土地・家屋の価格などがご覧になれます(23区内)

- 対象 平成27年1月1日現在、23区内に土地・家屋を所有する納税者
- 内容 所有資産が所在する区で課税されている土地・家屋の価格など(縦覧帳簿)
- 期間 4月1日(水)から6月30日(火)まで(土・日・休日を除く)
- 時間 午前9時から午後5時まで
- 場所 土地・家屋が所在する区にある都税事務所

納税通知書は6月1日(月)に発送予定です。詳細は、主税局HPまたは下記問合せへ

お問合せ／港区内に所在する物件について 港都税事務所 電話／03-5549-3800 (代表)

港区麻布地区総合支所だより



港区基本計画・麻布地区版計画書【平成27年度～平成32年度】を策定しました

生活者優先の、安全で安心して快適に住み続けられる国際・文化都市 ～地域そして世界へつながる“AZABU”をめざして～

このたび、麻布地区総合支所を含めた5地区の総合支所は、平成32年までの6年間で計画期間とする「地区版計画書」(以下、「計画書」という。)を策定しました。

策定にあたっては、区民参画組織「麻布を語る会 麻布地区版基本計画策定分科会」(以下、「区民参画組織」という。)からいただいた提言の反映に努めました。また、平成26年10月～12月に計画書(素案)を、区民参画組織、区民説明会、区のホームページ等を通じて、区民の皆さんにお知らせし、ご意見を伺いました。

計画書(素案)への意見及び意見に対する区の考え方は、区ホームページに掲載しています。なお、計画書は総合支所などで、4月以降閲覧・購入することもできます。

麻布地区総合支所は、これまで参画と協働により築いてきた区民や地域との強固な信頼関係を生かし、この計画を着実に実行していきます。

お問合せ／麻布地区総合支所協働推進課地区政策担当 電話／03-5114-8812

●麻布地区版計画書の説明

麻布地区の特性を活かしながら、地域の課題を地域で解決し、地域の魅力をより一層高めるために、麻布地区が重点的に取り組む事業について、前期3か年の地域事業を中心に計画を立案した計画書です。



港区基本計画・麻布地区版計画書 (平成27年度～平成32年度)

地域事業

地域の課題や特性を踏まえて、3か年の年次計画を立て、目標を明確にして取り組む事業です。

麻布地区独自 地域事業

★印は新規地域事業

六本木安全安心プロジェクト
防災ネットワーク構築事業
★みんなでエコっとプロジェクト
麻布未来写真館
麻布国際ふれあい事業
麻布フェスタ
★麻布で“地域のちから”活性化事業
★地方交流事業
地域サロン(ちょこつと立ち寄りカフェ)
おもちゃライブラリー
あざぶ達人倶楽部

港区「六本木安全安心憲章推奨事業所等認証制度」平成26年度 認証推奨事業所等が決定しました



六本木安全安心憲章
賑わい綺麗なまち 六本木を目指して

六本木のまちでは、地域と行政が連携し「防犯」「環境美観」「路上喫煙」「道路使用」「営業活動」の5つの課題に対応した地域独自ルール「六本木安全安心憲章」に関わる取り組みを推進しています。

区では、憲章を店舗・事業所等(以下、事業所等)へ普及させていくため、港区「六本木安全安心憲章」推奨事業所等認証制度を実施しています。

この制度は、憲章の趣旨に賛同する事業所等を募集し、その中から、積極的かつ主体的に地域活動に取り組む事業所等を推奨事業所等として認証するもので、区は、各事業者の取り組みを後押しし、その活動内容等を広く情報発信していきます。平成26年度は、賛同された317件(募集時点)の事業所等の中から、14件の事業所等を認証することに決定しました(表参照)。決定した推奨事業所等には、認証ステッカー(下図参照)を送付するとともに、認証式で認証状を交付します。



認証ステッカー

お問合せ／麻布地区総合支所協働推進課協働推進係 電話／03-5114-8802

●平成26年度 認証推奨事業所等一覧(五十音順)

店舗・事業所名	取組内容(概要)
(株)エグゼクティブプロテクション	○麻布小学校通学路の警備や定期的な防犯パトロール活動を実施。 ○憲章内容を理解させ、週1回ミーティングにより周知。
王帝商事(株)	○定期的に区域内の地域清掃活動や防犯パトロール活動を実施。 ○憲章内容について、ビル内店舗等や地域住民等へ説明・周知。
(株)源氏商会	○他店舗・事業所等に呼びかけ、定期的に地域清掃活動を実施。 ○憲章項目の自己チェックを実施し、憲章の理解状況を確認。
食処 竹やん	○区域内の町会・自治会とともに、地域清掃活動を定期的に行う。 ○地域の他店舗等に参加の呼びかけを行っている。
(有)下條ビル	○町会・自治会、警察等と協力し、地域の防犯パトロール活動を実施。 ○憲章の趣旨を周知するため、事業所の外壁にポスター掲示。
スターバックスコーヒー 六本木ヒルズウエストウォークラウンジ店	○六本木ヒルズ内店舗・事業所等と定期的に地域清掃活動を実施。 ○実施前に参加を募り、毎回数名参加している。
東京ミッドタウンマネジメント(株)	○町会・自治会、商店街、行政機関等と協力し、地域清掃活動を実施。 ○ビル内の他の店舗・事業所等にも参加の呼びかけを行っている。
東洋英和女学院	○小学部児童の父親有志および教職員が早朝に通学路の見守りを実施。 ○憲章シンボルマーク募集時には、生徒に応募の呼びかけを実施。
ハリウッド・メイスガーデンSPA	○六本木ヒルズ内店舗・事業所等と定期的に地域清掃活動を実施。 ○割り振りを決め、参加するとともに、新規参加者も呼びかけている。
フォトショップ銀嶺	○町会・自治会、警察等と協力し、地域の防犯パトロール活動を実施。 ○従業員に憲章のパンフレット等を回覧し、内容と取り組み状況を周知。
みずほ銀行 六本木支店	○町会・自治会、商店街等と協力し、地域の清掃活動を実施。 ○従業員に憲章を周知するため、事業所の内壁に憲章全文を掲示。
三井不動産(株)東京ミッドタウン事業部	○町会・自治会、商店街、行政機関等と協力し、地域清掃活動を実施。 ○憲章を周知するため、事業所の壁にポスター・ステッカー掲示。
森ビル(株)	○区域内自治会と参加者を募り、地域清掃活動を実施。 ○憲章を周知するため、事業所の壁にポスター掲示。
六本木共同ビル(株)	○町会・自治会、警察等と協力し、地域の防犯パトロール活動を実施。 ○活動参加時には割り振りを決めて、参加体制を組んでいる。

ザ・AZABUへのご意見・ご要望をお寄せください



ご住所・氏名・職業(学校名)・電話番号・ご意見・ご要望(日本語又は英語、字数・様式自由)を書いて、直接又は郵送・ファックスで、〒106-8515 港区六本木5-16-45 麻布地区総合支所 協働推進課へ。

●電話／03-5114-8802 ●FAX／03-3583-3782

編集委員を募集しています

地域情報紙「ザ・AZABU」はホームページからご覧いただけます。



「ザ・AZABU」は英語版も発行しています。

編集後記

先日、しばらく東京を離れていて麻布の自宅に戻った時、以前にも増して安堵感を覚えました。友人曰く、「年のせい」らしいが、どうもしっくりしない。街には相変わらず外国語が飛び交い、静かな住宅街があるかと思えば下町風情の商店街もある。高層ビル群はキラキラ光り、目を凝らせば歴史ある坂道や仏閣。一見刺激的? いや、実は麻布には様々な文化を包み込み調和させる優しさがあるのでは? 心地よい安堵感は、「年のせい」だけではないと思ひ至りました。(山下良蔵)

ザ・AZABU

●配布設置場所ご案内
六本木1丁目、六本木、広尾、麻布十番の各地下鉄の駅、ちいばす車内、みなと図書館、麻布図書館、南麻布・ありす・麻布・西麻布・飯倉の各いきいきプラザ、麻布区民センター、麻布地区総合支所等

●本紙掲載の記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。

- Chief 田中亜紀
- Sub Chief 高柳由紀子
- Staff 出石供子 手塚千晶
大澤佳枝 寺尾周祐
大村公美子 満木葉子
折戸桂子 森 明
芝崎義則 山下良蔵
田中康寛 渡辺久剛
Junior Staff 平本理花子 藤原千那美

「みなとコール」は暮らしの疑問にまとめてお答えします!

区役所のサービスや施設案内、催し情報など、お気軽に問合せください。年中無休/午前7:00～午後11:00 ※英語での対応もいたします。

電話／03-5472-3710 FAX／03-5777-8752
Eメール／info@minato.call-center.jp

“Minato Call” information service
Minato call is a new city information service, available in English every day from 7 a.m. - 11 p.m.
Minato Call: Tel: 03-5472-3710; Fax: 03-5777-8752; E-mail: info@minato.call-center.jp